

令和4年度 福岡市立〔 原西小 〕学校 学校評価実施状況(公表用)

めざす学校像・子ども像・教員像		課題	今後の改善方策
<p>○めざす学校像:「一人ひとりの個性を認め、心を育む学校」「教師が一つにまとまり、秩序と規律のあり、保護者・地域から信頼される学校」「美しく、落ち着いた環境で、通いたくなる楽しい学校」</p> <p>○めざす子ども像:「進んで学び、最後までやり抜く子ども」「自分の事も、他人の事も大切に子ども」「明るく元気でたくましい子ども」</p> <p>○めざす教員像:「児童・保護者に愛情をもって寄り添い、信頼される教師」「より高い人権感覚をもち、健康で心豊かな教師」「専門職として研修を深め、組織の一員としてお互いに高め合える教師」</p>		<p>主体性を育む授業づくりの推進</p>	<p>・ICTを効果的に活用し、児童が主体的に学ぼうとする授業づくりを行う。 ・学習規律の徹底と家庭学習の定着を図る。</p>
		<p>心の教育の充実</p>	<p>・安心して過ごせる学級づくりを目指す。 ・個々の状況の合わせた支援をチーム学校で充実させる。 ・関係機関との連携を図る。</p>
		<p>基本的な生活習慣の確立</p>	<p>・日常的な挨拶と掃除を徹底させる。 ・保護者の協力を得て家庭での早寝・早起きを習慣化させることで、遅刻を減少させる。 ・新しい学校の生活様式を定着させる。</p>
重点目標	指標(取組指標・成果指標)	達成状況についての説明	
主体性を育む授業づくりの推進	<p>テーマ研究においてICTを活用し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりを推進する。(児童アンケート90%)</p>	<p>○国語の「書く」単元でICTを活用して全学年で授業実践を行った。可視化、共有化、個別最適化といった「ICTのよさ」を取り入れることで、書くことが苦手な児童も、意欲的に自分の考えを書き表す姿が見られた。(学期末評価93%)</p> <p>○ICT教員研修を4回実施した。実際の授業場面を体験したり、互いに教え合ったりして、教員のICT活用能力が向上した。</p> <p>○自学メニューの例を学年に合わせて紹介したり、家庭学習パワーアップ週間で保護者の方の協力をお願いしたりすることで、昨年度よりも自学に取り組む児童が増えた。</p>	
	<p>これまでの実践とICTを効果的に組み合わせる新しい授業づくりについて研修を実施する。(研修後アンケートの満足度80%)</p>		
	<p>自学の内容を盛り込んだ家庭学習を実施する。(学期末評価90%)</p>		
心の教育の充実	<p>毎月の生活アンケートやQUアンケートを活用したPDCAサイクルに基づいて学級経営を進める。</p>	<p>○毎月の生活アンケートやQUアンケートについては学年で情報共有し、気になる姿については学年全体で見守ることができた。また、毎月や毎学期ごとに児童の姿を通して振り返りを行い、PDCAを意識して学級経営を進めることができた。</p> <p>○部会やケース会議を計画的に進めたことで、児童の実態に合わせて取組を推進したり支援体制を整えたりすることができた。</p> <p>○行き渋りや不登校の児童について、早い段階でSCやSSWにつなぐことができた。担任だけでなく、通級指導教室担当、子育て支援課や児童相談所等の関係機関とも連携し、児童や保護者に対して支援を行っているが、不登校の理由が多様化しており、昨年度より不登校児童は増加している。</p>	
	<p>月1回の部会やケース会議で児童の実態を共通理解するとともに、取組方法や支援体制について検討する。</p>		
	<p>SC,SSW,関係機関等と連携し、不登校状況の改善を図る。(不登校児童数2割減)</p>		
基本的な生活習慣の確立	<p>学期末アンケートで、挨拶や掃除を積極的にしていると肯定的な回答をする児童70%以上を目指す。</p>	<p>○学校生活の中での挨拶や無言清掃については、児童自身に振り返りをさせることで意識を高めることができている。(保護者アンケート76%)学校外での挨拶やごみの持ち帰りについては課題がある。今後も学校全体で指導していきたい。</p> <p>○生活習慣調査の結果を受けて保健だよりや食育だより、懇談会等で保護者に啓発を行っている。懇談会への参加が少なく、直接的な働きかけが難しいが、今後も基本的な生活習慣について子どもへの指導とともに保護者への啓発を続けていく。</p> <p>○感染症予防のため、手洗い、マスク、換気など、児童自身が考えて対策できるようになっている。(保護者アンケート96%)</p>	
	<p>早寝・早起き・朝ごはんの保護者啓発を行うとともに、アンケート調査により実態を分析し、今後の目標を立てる。</p>		
	<p>新しい学校の生活様式の定着を図れるよう学校全体で指導する。(児童アンケート90%)</p>		
学校関係者評価についての説明(評価委員からの意見・要望・改善に向けた提言等)			
<p>・コロナ禍の中でも感染対策を行いながら、学校行事や学年での校外学習など子ども達の活動が充実しているようだ。体験的な活動は子ども達にとっても貴重な経験になるので今後も続けてほしい。</p> <p>・どの学級でもICTを活用した授業が行われている。子ども達もタブレットを使いこなしていて感心した。大人よりも子どもの方が習得が早い。使い方についても学校で指導しているとの事だが、家庭でもルールについて話し合う必要がある。</p> <p>・人手不足で先生が多忙になり、余裕がなくなってしまうのではないかと心配している。子どものしつけについては学校だけでなく、家庭の協力も必要である。地域でも子ども達を見守ってほしい。</p> <p>・不登校や行き渋りの児童が増えている。理由が多様化しているとの事だが、何か地域でもできることがあれば協力したい。</p>			